

100万年前のゾウの足跡化石

～安曇川町土古賀地区～

安曇川町土古賀地区の安曇川河川敷一帯には、ゾウの足跡化石や昆虫・植物化石が存在します。これらの化石は、一昨年の台風の増水により河床が削られ、発見されました。文化財課では、この失われつたある化石を適切に記録・保存する目的で、昨年10月、子ども達や市民による調査団を結成しました。調査では高島累層研究会・滋賀県足跡化石研究会・琵琶湖博物館の方々と共に、発掘や図面作成・樹脂による型取りを行い、詳細な足跡化石の状態や様子を調べ、ゾウのいた時代の様子をわかつてきました。

発見された足跡化石は、ゾウなど

の長鼻類121点、シカなど128点を含み総数128点となりました。

足跡化石が含まれる地層は、その周辺の地層に含まれる火山灰層から古琵琶湖層であることが最近明らかになつてしまつて、発見された足跡

化石は、今からおよそ100万年前の足跡化石と考えられます。周辺の地層からは、ハノノササや「ナリ」、クルミ・ヒゴノキ・ミツガシワなどの植物化石や、ミズクサハムシ属やネクイハムシ属などの昆虫化石も発見されています。これらの産出した化石から、足跡化石が残されたといひながら、足跡環境が存在し、ゾウやシ水辺や湿地環境が存在したといひます。これが生息していたと推定されます。このように、これらの化石は、当

力が生息していたと推定されます。このように、これらの化石は、当時の環境を復元するうえでも、貴重な資料で、かつては高島にもゾウがいました。



「ボーラーを投げる時は、グラブ側の腕も上手に使って」とアドバイスするのは、現役メジャーリーガー大家友和選手。直接教えてもらった子ども達の目はキラキラ。この日、大家友和ベースボールクラブ社会人チームの発足を記念したイベントが行われました。

写真は、参加した子ども達と大家友和選手[1月8日(日)今津総合運動公園]

CONTENTS 目次

「6次産業のまちの創造」を目指して	2・3
市民の皆さんのご理解をお願いします	4・5
タウンピックス	6~8
市長日記・シリーズ環の郷	9
そうだ、図書館に行こう♪	10・11
健康生活してますか?	12・13
みんなの子育て応援します!	14・15
みんなのページ	16・17
まちネタ写真館	18・19
情報お知らせ版	20~27
お知らせ・窓口だより	28・29
行事カレンダー	30・31

2月号
平成18年2006
February
No.14

Home Page Address
<http://www.city.takashima.shiga.jp>
Mail Address
t-info@city.takashima.shiga.jp

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北浦56番地 ☎0740-25-8130

(広報担当)



「今年はもう大変やわ」と話してくださったお婆ちゃん。屋根雪を一輪車に積んでは近くの川までほかしに運びます。(マキノ町白谷にて)

編集後記